

平成26年度第1回庄原市小・中学校生徒指導主事等研修会

平成26年7月11日（金） 庄原市総合体育館 第2会議室

【研修の目的】

市内小・中学校生徒指導主事及び生徒指導担当者の連携を図ることを通して、児童生徒の生徒指導上の諸問題等の未然防止、並びに積極的生徒指導の推進に努める。

【講義】「庄原市内小・中学校の生徒指導上の諸問題の現状と課題について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 高見省吾

6月に行われた学校警察連絡協議会で、庄原警察署生活安全刑事課長より、庄原市では生活に密接する犯罪が多く発生（窃盗犯が全体の65%を占める）していることが報告され、その内容をもとに現状と課題にふれた。特に、今年度、市内小・中学校において窃盗・万引き事案が例年以上のペースで生起している実態から、犯罪等の未然防止のため、組織的な生徒指導體制の確立、生起した事案に係る状況・対応等の情報共有、児童生徒・保護者への情報発信、地域店舗等との連携等が重要であることなどを確認した。

【事後アンケート】より

- 指導の根拠を基にした資料作成は、有効だと思った。小学校では、担当が問題を抱えてしまいがちなため、共通理解を図るために取り入れていきたい。
- 複数の問題が同時に起こると対応できなくなるため、情報を共有化するための色別分類シート等活用していきたい。



【講話・演習】「いじめの問題に取り組むための効果的な考え方と実践について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 高見省吾

「平成26年度いじめの指導者養成研修」等の資料を参考に、いじめの問題に係る効果的な考え方等について講話をした。いじめの社会問題化、定義、本質、被害者の心理等、いじめの問題について理解を深め、その後、実際にあった事例から対応の問題点について各グループで協議した。協議の結果、改めて問題が生起した際の初動対応、報告・相談体制、保護者連携等組織的な生徒指導が重要であることを確認しあった。また、特にいじめの問題に対しては、被害者を守る体制、重大性の認識等教職員の危機意識がポイントであることを理解しあった。

【事後アンケート】より

- 時代とともに、生徒指導の内容や背景も変わってきているので、研修会での交流や研修内容（新しい情報）は大変参考になった。
- 具体的な事例の演習を通じて、生起した事案への指導體制を再確認することができた。対応マニュアル等他校の実践資料は、とても参考になる。

